

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、10～18.5℃台を示し、やや高い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――シケで出漁日数は少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり0.6トンの水揚げ（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週の67%（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり62kgの水揚げで、前週の2.6倍（前年並み）。壱岐勝本地区では1日当たり338kgの水揚げで、前週の4.5倍（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり0.9kgの水揚げで、前週の13%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり4kgの水揚げで、前週の50%（前年を上回った）。
- 定置網――五島有川地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり224kgの水揚げ。北松生月地区では、サワラなどが1日1統当たり348kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヤリイカなどが1日1統当たり33kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり459kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ブリが1日当たり105kgの水揚げで、前週の70%（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（1/24～1/29日の6日間）沖合イカ釣り船、船凍船は大和堆周辺海区から太平洋赤イカ海区出漁。（一部境港で休漁船有り）

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～山形沖にかけて出漁した。

鳥取県漁協境港支所 入港なし。

（漁業情報サービスセンターより）